

シズケア*かけはし

静岡県地域包括ケア情報システム

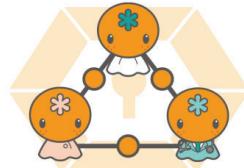


シズケア*かけはし
イメージキャラクター
「シズみん」

日時：令和4年11月11日（金）19:15～
場所：沼津医師会

静岡県医師会 シズケアサポートセンター

「シズケア*かけはし」全体概念図



静岡県内の地域包括ケアの現場にＩＴネットワーク型の連携情報システムを構築します。
医療・介護の現場における、主治医、訪問看護師、ケアマネジャー、病院主治医、病院看護師、MSWを含む地域医療連携室スタッフ等による情報共有のほか、地域内での見守りや救急搬送時を含め、地域包括支援センター、地域医師会、行政等における連携もスムースに促進します。



「シズケア*かけはし」システムの変遷



3

登録施設数、ユーザー数

※令和4年11月7日時点

	登録施設数	ユーザー数
全県	1,218件	5,315人
沼津医師会地域	114件	441人



施設区分	登録施設数
病院	10
医科診療所	29
歯科診療所	1
薬局	21
訪問看護ステーション	15
居宅介護支援事業所	10
その他の居宅サービス事業所	2
介護保険施設	3
地域包括支援センター	17
地域密着型サービス事業所	1
有料老人ホーム・ケアハウス	1
自治体（市町）	3
郡市医師会	1
合計	114

職種区分	人数
医師	43
歯科医師	1
薬剤師	57
看護師	127
保健師・助産師	13
理学療法士	15
作業療法士	8
言語聴覚士	1
社会福祉士	41
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	64
訪問介護員(ヘルパー)	2
介護職員(介護福祉士を含む)	4
事務職員	54
その他	11
合計	441



4

「シズケア*かけはし」のメリットは？①



TEL、FAXと違い、ダイレクトにシステムに情報が入るので迅速。

掲示板がコミュニケーションツールとして使いやすそう。

施設の空き情報が見られるので便利そう。

参加施設が増える程、有効なシステムになるのではないか。

あちこちにFAXせずに済むようになるので良い。

人付き合いが苦手な人でも入っていけそう。

必要な情報が速やかに入手できそう。

カレンダー機能で訪問日の調整がスムーズ。

同じ内容を一括に伝えられる、手間が少ない。

医師、ケアマネ、サービスの看護師の連携（連絡方法のショートカット）。

データで情報の保管ができる。必要な情報を選択して印刷できる。

FAXのシステムの利用が有効。

5

「シズケア*かけはし」のメリットは？②



各職種でニーズと考えられることを記載できる。

薬の変更、受診時の医師からの指示・助言等の確認ができる。

治療の相談ができる。

ヘルパー側も訪問する時に身体介護等を行う場合などは医療の情報を知ることができれば有効。

ヘルパーが訪問する回数が多いので、他の職種に早く情報が伝えられる。

モバイル端末から親機に移すことができて良い。

それぞれが出した情報を報告書に利用できたり、各書類に貼り付けることや指示書などに利用できて有効。

担当者会議に参加できなくてもタイムリーに情報が共有できるようなシステムになると良い。

情報提供する側が情報を受ける人を決めていくようにしていく。

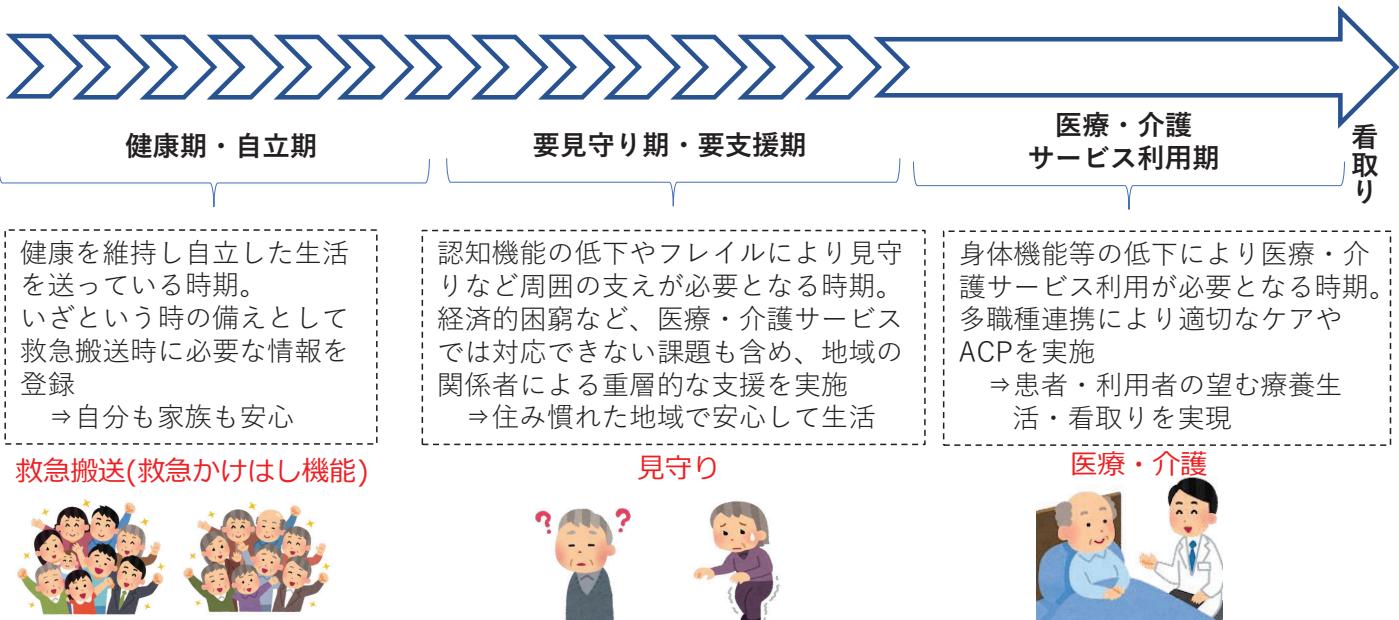
6

「シズケア*かけはし」機能一覧

情報共有システム	① 医療・介護 (旧:患者・利用者情報共有システム)	医療・介護サービスの提供を受けている患者・利用者の個別情報を多職種多事業所から構成されたチームで共有
	見守り 	医療・介護サービスを利用していないものの何らかの支援や配慮が必要な方の情報を、関係機関によるチームで共有
	救急搬送(救急かけはし機能) 	事前登録された住民の「救急情報」を、救急搬送時において救急隊員を含む関係機関で活用
②	施設サービス検索・折衝	県内の医療・介護施設の特徴や空き状況が把握でき、退院調整時等には効率的な退院先の抽出と折衝を実現
情報交流ツール	セキュアメール	安全性の高い環境のもと、ユーザ間でタイムリーに日常的な連絡が可能
	掲示板	研修会のお知らせ等、ユーザにとって役立つ情報を一斉配信。地域や職種を限定するなど様々な利用が可能
④	便利機能 	クラウド会議(ビデオ会議システム)、イベント開催業務支援機能、公的文書作成支援機能

7

地域包括ケア対応型システムのイメージ ~令和3年度システム改修~

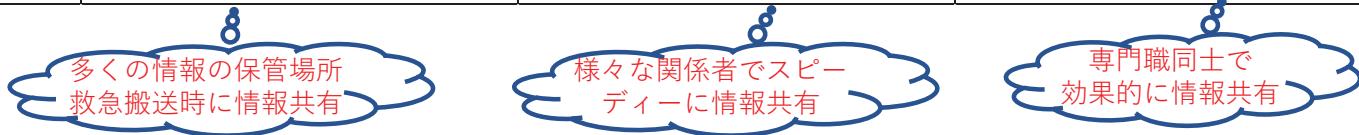


『シズケア*かけはし』は、元気な時から最期に至るまで
一貫してその方の生活を支えます！

8

情報共有システム：「運用目的」の基本フレーム

運用目的	救急搬送（救急かけはし）	見守り	医療・介護
対象者の想定	すべての地域住民 ※ 運用する市町で範囲の設定が可能	見守り等、何らかの支援が必要な方	医療・介護サービスの利用者
参照できる対象者の情報			
	救急情報シート（対象者に関する情報／フォーム入力） ・汎用情報（対象者に関する情報／電子ファイル保存） ・調剤情報（調剤明細書のQRコードを読み取り）	見守り情報（共有チーム内の情報のやり取り）	提供情報（共有チーム内の情報のやり取り）
参照できる人	共有チームの構成員 + 市町職員（※）+ 救急隊員（※） ※ 市町職員は対象者の登録リストの閲覧が可能 ※ 市町の申込みにより救急隊員による救急ショット（アプリ）の利用が可能	共有チームの構成員	共有チームの構成員 ※ 一部の施設・職種については、参照不可 または共有チーム員の修正により参照可
主治医の取扱い	主治医の登録は任意	主治医の登録は任意	主治医の施設名と氏名の入力が必須
特徴	・参照できる情報の種類が多い。 ・情報の更新が容易（調剤情報） ・情報のやり取りは救急ショット（アプリ）を利用	・ユーザーは誰でも共有チームの構成員となり情報の参照が可能 ・スピード感のある情報のやり取りが可能（見守り情報の表示はスレッド式）	・参照できる人の範囲を制限しているため、よりセンシティブな情報を取り扱える ・過去の履歴の確認が容易（提供情報） ・やり取りのできる情報量が多い（提供情報）



9

1 基本料金

区分	単位	金額
基本利用料	1 事業所	年額 12,000円 (税込 13,200円)

2 オプション料金（基本料金に加算）

区分	単位	金額
クラウド会議加算	1 事業所	年額 24,000円 (税込 26,400円)
救急かけはし負担金	市町 (人口1万人未満)	年額 24,000円 (税込 26,400円)
	(人口1万人以上)	年額 36,000円 (税込 39,600円)
	(人口5万人以上)	年額 48,000円 (税込 52,800円)
	(人口10万人以上)	年額 60,000円 (税込 66,000円)
	(人口20万人以上)	年額 72,000円 (税込 79,200円)
	(人口30万人以上)	年額 84,000円 (税込 92,400円)
		... 主催する場合 (参加のみは無料)
		... アプリ「救急ショット」 の利用に関する負担金 (市町が負担)

※税込み金額及びオプション料金については、令和5年4月1日より適用。
(初年度の負担金については、柔軟に対応。)

※基本利用料にシステムサーバの更新費用等は含まれています。



10

地域包括ケアのプラットフォーム 「シズケア*かけはし」

地域住民、関係機関、医療・介護・福祉の専門職から民間企業まで・・・
安心して暮らせるまちづくりに皆で参加

